
スーパーボウラー 松山俊輔

関与

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパードウラー 松山俊輔

【Nコード】

N4745I

【作者名】

関与

【あらすじ】

アマチュアボウラーとして評判な松山俊輔。彼の、ボウリングライフを描いた小説。

第一話 松山 俊輔という男

(ここで慌ててはならない……………)

その男の見つめる先には、10本のピンが立っている。
わずか18メートル先に、全てをかけて――

彼の名は、マッヤマ シュンスケ松山 俊輔という。山口県内のボウリングセンターに勤務する正社員、27歳。

センターで勤務する傍ら、自らもボウリングをするプレイヤーとしてそれなりに有名である。山口県のアマチュア大会は、ほぼ全ての大会で上位進出を果たしているほどのレベルだ。

そして、今は全日本アマチュアボウリング大会第一次予選……………いわゆる「県大会」というやつだ。その予選会に出場している。

県内から本大会へ出場できるボウラーは3名……………その狭き門を目指し、100名を近いボウラーが松山が勤務しているセンター、「ボウリングセンター港」に集まっていた。

自らの「ホーム」ではあるぶん、幾分かは投げやすさという面で他のボウラーよりは有利であった。

ただ、それは他の「センター港」で投げているアマチュアボウラーにも言えることであつた。

皆さんはご存知であろうか。現在、ボウリング場はシニア世代の社交場とも言えることを。

かの有名な「中山律子」プロが大会のTVファイナルでパーフェクトゲーム――(全てストライクで1ゲームを終えること……………300点となる)を達成した事で、一躍第一次ボウリングブームが巻き起こったわけだ。

そんな、第一次ブームで波に乗った世代が、現在またボウリング場へ舞い戻ってきて、第二の青春ともいえるボウリングライフを楽しんでいる。

毎週、シニア世代の大会が開かれているセンターも珍しいわけではなく、リーグ戦なども数多く開催されているのが現在のボウリング場なのだ。

それだけに、シニアのボウラーといえど侮れない。「センター港」の月間アベレージ（1ヶ月の1ゲーム当たりの平均点）の上位には常にシニア世代のボウラーが入っている。

大会は、既に後半を迎えていた。

上位3位に入った選手に与えられる大会の切符は、松山の目の前に見えている。

ここまで6ゲームを投げて、全体2位であった。1位をひた走るのは、「センター港」で月間アベレージが常にトップ3に入っているヨシオカ トシアキ吉岡 敏章である。

点数の差はわずか12ピン。追いつき追い抜く可能性も、まだまだ十二分にあつた。

「俊輔君……一応、4位との差は52ピンだそうだ……今の君なら1位突破が見えるぞ！」

ボウラーズベンチに座って、8ゲーム目の開始を待っていた松山に、1人の男性が声をかけてきた。

「センター港」のアマチュアボウラー、キミシマ アキラ君島 彬だ。今大会では予選6ゲームを投げぬいたところで惜しくも敗退となった。

「はい……有難う御座います。何としても吉岡さんを抜きたいところですね」

「君なら出来るよ。さ、次も頑張ってくれ！」

心強い声援が、松山を後押しした。

8ゲーム目に入っても、松山の調子はまったく崩れなかった。基本に忠実といえる、美しいフォームから繰り出されるボールは安定してポケット―（ストライクが取れやすい1番ピンと3番ピンの間の事）に入っていく。

ここまで7ゲームのアベレージは217とかなり高い。それを超える吉岡に追いつくにはさらなる点数が必要だ。

気合を入れなおして、自分のボールを手にとった――

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4745i/>

スーパーボウラー 松山俊輔

2010年12月10日18時11分発行